

交換留学(派遣) 近況報告書

留学先での生活はいかがですか。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの近況等を把握するための資料です。何か困ったこと等があれば、本報告書に限らず速やかに教務係までご連絡ください。
② 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は交換留学開始後、2～3ヶ月以内に写真データと共に提出してください。(経営提出締切日12/6)



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
氏名:	
学籍番号	
メールアドレス:	
留学先大学:	Cardiff University
留学先での所属学部・研究科:	Cardiff Business School
留学先での在籍身分:	交換留学生
留学期間:	2019年9月~2020年6月
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3
本報告書記入日:	2019/12/3

1. 出発前について

1-1	交換留学以前に海外留学の経験はありますか。	いいえ
	「はい」の場合、留学先及び留学期間を記入ください。	
1-2	この留学プログラムを最初にどのように知りましたか。	所属部局の掲示板
	その他を選択した場合、記入してください。	
1-3	このプログラムに参加した動機を教えてください。	最もよく当てはまるものから順に1~4まで順位をつけてください。(1:最も強い動機)
	学術的な目的(研究を深めるなど)	
	語学力の向上	3
	プログラムの時期がちょうど良い	
	プログラムの長さがちょうど良い	
	かかる費用がちょうど良い	
	地理的な条件が良い	4
	将来のキャリアのため(就職に役立つなど)	
	家族のバックグラウンドと関係がある	
	異文化を体験したい	1
その他(具体的に記入)		
1-4	出発前にどのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば記入してください。	先輩方の報告書やネットでカーディフ大学について調べた
1-5	VISAについて	
	VISAの種類:	Tier4 General
	申請先:	UK visas and immigration
	必要日数:	3週間ほど
	VISA取得にかかった費用:	約10万円(NHSの支払いを含む)
	VISA申請のために求められた書類:	パスポート(過去のもの)
その他、VISA申請の際のトラブルや、注意すべき点があれば記入してください。	ビザ申請については大学側からCASレターというものが届かないと手続きを始められないので7月ごろになる。また、毎年基準や提出しなければならないものが変わるような注意	
1-6	出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用	なし
1-7	どのような種類の保険に加入したかを教えてください。また、現地で加入した保険があれば記入ください。	学研災の付帯保険・NHS(イギリスの健康保険のようなもので、留学生であっても加入は必須)
1-8	その他に必要なだった手続き、方法、料金等	特になし

2. 留学先到着後の手続きについて		
2-1	到着時について	
	利用旅行会社(航空券の手配をした会社):	アジアナ航空
	到着空港名:	ロンドン ヒースロー空港
	空港到着時間:	19時頃
	到着地からの移動手段:	公共交通機関(バス・鉄道)
	移動の所要時間・料金:	3時間半程度
	到着地からの移動で注意する点があれば記入ください。	私は利用しなかったが、ヒースローから大学側が国外から来る学生のために無料でバスを提供してくれる。
2-2	住居について	
	住居のタイプ:	大学寮
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居(寮、アパート)の名前:	Talybont Court
	部屋の種類:	一人部屋
	その他を選択した場合、記入してください。	
	ルームメイト:	その他
	その他を選択した場合、記入してください。	イギリス人2人、インド人1人(英語ネイティブ)、スペイン人留学生1人
	住居の探し方:	大学の斡旋
	その他を選択した場合、記入してください。	
大学までの通学時間・手段:	ビジネススクールまで徒歩10分	
	住居の周りの環境はどうか。	500人以上が生活する大きな寮です。大学寮の中では2番目くらいに設備が良い寮みたいで、住み心地自体は快適です。しかしながら現地学生がかなりうるさい時があるので、それが気になる人はQuiet Livingというオプションが用意されているのでそちらを選ぶとよいと思います。というより普通の人の感覚だとQuiet Livingでちょうどいいくらいです。ちなみに普通の寮では部屋で勉強するというのは諦めたほうがよいです。(うるさくて集中できないことも多い)また、スーパーは徒歩7分くらい、City centreまでは20分くらいです(バスもあります)
	毎日の食事はどうしていますか。	基本は自炊している。キッチンには電子レンジ・冷蔵庫・電気コンロ・ポット・トースターは用意されている。
	住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。	渡航前にオンラインで10希望まで選べる。たまに第一希望に入れられない人もいるらしいが基本通る。
2-3	留学生向けオリエンテーションについて	
	留学生向けオリエンテーションの有無について:	有り
	参加義務について	必須
	参加費用:	無料
	有料の場合、金額:	
	オリエンテーションの内容を記入してください。	図書館の使い方など基本的なことが中心、ちなみに履修登録については触れないので、日本で考えてきた方が楽だと思います。
2-4	その他、渡航してから必要な手続きについて	
	現地で滞在許可申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。	BRPというカードをビザ申請時に指定した郵便局に取りに行く。これが正式なVISAとなり、こちらでのIDとして利用できる。
	その他、現地到着後にした手続き(健康診断、予防接種等)があれば、方法、料金等を記入してください。	NHSのGP(かかりつけ医のようなもの)を登録した。

3. 語学力向上のためのコースについて		
3-1	語学力向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学(語学学校)名、コース名、料金、期間等を記入してください。	参加していません

4. 大学の授業について		
4-1	履修登録について	
	履修登録の時期:	出発前
	履修登録の方法:	オンライン
	その他を選択した場合、記入してください。	
	登録時に留学生として優先・配慮はありましたか。	有り
	優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。	2・3年生向けの授業が基本全て履修可能
	希望通りの授業が履修できましたか。	はい
	希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。	
4-2	現在までに履修している授業について記入してください。	クリックで別シートへ
4-3	一週間のスケジュール(授業時間、課外活動等、毎日の生活)を記入してください。	クリックで別シートへ

5. 現在までの感想を自由に記入してください。(800字～)

秋学期の授業もほぼ終わりに近づいていますが、ここまでで気づいたカーディフの良い点と悪い点についてお伝えしたいと思います。

まず、良い点の一つ目としては、神大では学べないことが学べるということです。例えば私は今Lv6の授業を2つ取って、バリュエーションやコーポレートファイナンスについて学んでいますが、これらは神大の授業ではカバーされていない部分も多くとても勉強になります。また同時に、勉強するための設備も整っていると思います。ASSLという一番大きな図書館は24時間開館しており非常に重宝しますし、ビジネススクールにはトレーディングルームというものがあり、世界中の時計やティッカーボード、テレビなどがあり、60台ほどあるパソコンからはBloombergのデータベースにもアクセスできます。実際にチュートリアルでもトレーディングルームを使用し、みんなで仮想の取引を行うこともあります。

2つ目としてはカーディフ自体が非常に住みやすい街だということです。基本的にCityCentreにいけばなんでも揃いますし、コンパクトな街なので基本的に徒歩で移動できます。CityCentreには結構巨大なショッピングモールもあり(たぶん西宮ガーデンズぐらいあります)、Apple Storeを始めとして、様々な有名なチェーンストアなのが軒を連ねていて買い物に困ることはほぼないと思います。また、スーパーも私が住んでいる寮からはTesco Expressという大きなスーパーが徒歩15分くらいのところにありますし、小さいスーパーは街の至る所にたくさんあります。加えて治安もかなり良いです。

3つ目としては、日本語を勉強している学生が多く、友達を作りやすいということです。カーディフ大学にはMLANGという日本でいう所の外国語学部のようなものがあり、日本語学科があります。またJapanese Societyというものもあり、日本好きの学生や日本人学生などがここに集まっています、イベントも様々なものが週2～3回くらい開催されているので、友達も簡単にできると思います。また日本語を勉強している学生とLanguage Exchangeという形で週1回カフェでお喋りしています。(本当にカフェで雑談しているだけです)。

次に悪い点についてですが、まず気づいたのはかなり学生のレベルの幅が広いということです。もちろん優秀な学生もたくさんいて刺激を受けることも多いですが、そうでないと感じる学生も割といます。ビジネススクール以外のことはあまりわかりませんが、私の感覚だと出席率は70%ぐらい、チュートリアルに関しては、コースによっては20%ぐらいのこともザラにあります。実際に私のフラットメイトは心理学を学んでいるのですが、ほぼ授業に行っていないようです。また、図書館はサイレントゾーンという私語禁止のゾーンがあるのですが、ルールが守られていることはあまり無く、日本の図書館より勉強しにくいかも知れません。

2つ目としては、寮に関してです。カーディフ大学の寮には基本的に現地学生の1年生か交換留学生しか入寮できません。したがって基本的にはイギリスの子たちとフラットをシェアすることになり、ここが住居面で他と大きく異なる点だと思います。他の提携校だと留学生用の寮があり、様々な国籍の学生が一つ屋根の下で生活することになるというイメージですが(神大のinternational residenceのように)、カーディフは違います。もちろん、あまり国際交流したくないと思っている現地学生もいるので、フラットメイトの合う合わないは出てくると思います。

6. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください！

6-1	神戸大学では所属学部・研究科教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生等のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか？(あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。) ※閲覧資料にすることに同意しない場合でも、あなたの近況等を把握するため及び本プログラムの改善のために学内関係部署に転送することがあります。	はい
6-2	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
6-3	もし写真を提出する場合、あなたの写真を報告書とともに閲覧資料にすることに同意しますか？	はい
6-4	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
6-5	もしあなたと同じ大学(国)に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？	はい
同意する場合、連絡可能なメールアドレス:		1712535b@stu.kobe-u.ac.jp

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料になります。残りの留学生活が楽しく実り多いものであることを神戸大学教職員一同、祈念しています。

4-2 現在までに履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Excellence in Manging Operations	Qinyun Li	110分	20	英語	60	評価はessay50%,Exam50%。主に在庫管理やチェーンサプライマネジメントについて学ぶ。
2	Management Accounting	Patrick Wylie	110分	20	英語	90	評価はessay50%,Exam50%。名前の通り管理会計の授業だが、主に原価計算について学ぶ。日本で原価計算や工業簿記を勉強していればそんなに難しい内容ではないと感じる。
3	Managing in Multicultural Organisations	Jonathan Preminger	110分	20	英語	40	評価はessay50%,Exam50%。名前の通り、多国籍企業や様々なカルチャーでのマネジメントについて学ぶ。内容自体はあまり難しいものではないと思うが、かなり抽象的なので理解するのが大変。
4	Money Banking&Finance	Christoph Himmels	110分	20	英語	90	金融機関や市場システム・ファイナンスについての講義。具体的にはCAPMやSML,効率的フロンティアといった基礎から、金融機関の証券化やサブプライムローン問題まで扱う。基礎的なファイナンスの知識があれば前半は比較的簡単だが、金融危機などに関しては難しいと感じることもある。
5	Analysis of Financial Reporting Information	Kevin Holland	110分	10	英語	40	Lv6 (上の4つはLv5)の授業で、評価はExam100%。主にバリュエーション(企業価値算定)について学ぶ。具体的にはDCFモデル,REMモデル, clean surplusなどなど、基本的のは財務レシオを用いた分析を行う。内容は難しく、チュートリアルもレベルが高い。基本的な財務諸表についての知識必須。
6	Corporate Finance and Strategy	Kevin Holland	110分	20	英語	70	こちらもLv6で、評価はExam100%。コーポレートファイナンスと財務戦略について学べる。内容は幅広く、金利変動リスクヘッジや為替変動リスクヘッジ、M&A戦略と資金調達、企業の倒産リスクなどを扱う。またそれぞれのトピックについても深掘りし計算も多い。恐らく日本だと完全に学部レベルを超えていて、難しいです。当然コーポレートファイナンスの基礎知識は必須で、神大だとコーポレートファイナンスを履修するのいいと思います。

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業については主に財務系やファイナンスの授業を履修していることもありますが、グループワークやプレゼン等は一切なく、課題等は全て個人のものでした。また、成績評価は1月のエッセイ50%、5月のExam50%というものが多くと思います。クラスサイズについては授業により差があるとは思いますが、基本的には50以上はいる比較的大きいものが多いと思います。ちなみにチュートリアルは平均15人程度です。(実際に出席している人はもっと少ないですが)あと、中国人がかなり多いです。ビジネススクールの学生のほぼ半分は中国人で、なんとMBAは80%くらいが中国人のようです。

4-3 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							課題や外出などなど
9:00			Managing in Multicultural				
10:00	Analysis of Financial Reporting Information(Lecture)			Management Accounting(Lecture)	Money Banking&Finance(tutorial)		
11:00							
12:00	Corporate Finance and Strategy (Lecture)	Analysis of Financial Reporting Information(Tutorial)					
13:00			Societyの活動に行く				
14:00	Corporate Finance and Strategy(Lecture)	Corporate Finance and Strategy(Tutorial)			Management Accounting(Lecture)		
15:00				Managing in Multicultural Organisations(Tutorial)			
16:00				Money Banking&Finance(Lecture)			
17:00	Management Accounting (Tutorial)				Language Exchange		
18:00							
19:00							
20:00		Societyの飲み会に行く					
21:00							
22:00							
23:00							